日本初の女性医師、荻野吟子の生涯を映画化へ。『一粒の麦』のロケマップ

吟子は、1851(嘉永４)年、
荻野綾三郎と嘉与の五女「ぎん」として旧俵瀬村(熊谷市)に生まれました。

一粒の麦・荻野吟子記念館と生誕之地公園

1868(慶応4)年、
隣村の名主の家に嫁ぐ。吟子17歳

一粒の麦・赤岩の渡し

働く吟子。
嫁ぎ先の有数の豪農で。

一粒の麦・上川上/晴湖の道

1870(明治3)年、
大学東校の付属病院に、2年間入院しました。

一粒の麦・坂田医院旧診療所

こんな病気早くなおして
もっと学問を身につけましょうと
荻江から激励されました。

一粒の麦・ふるさとの俵瀬

吟子が通い松本萬年に学び勉学した
両宜塾、萬年の娘荻江とも親好を結んだ。

一粒の麦・両宜塾

学問の道へ。
井上頼圀の私塾神習舎で学ぶ吟子。

一粒の麦・井田記念館

北海道

高島嘉右衛門の紹介状を携え
衛生局長 長与専斎を訪ねた吟子。

一粒の麦・深谷商業高等学校記念館

熊谷市出身の日本初の女性医師 荻野吟子の映画化にともない山田火砂子監督は熊谷市の「荻野吟子記念館」を訪問されたのち、吟子生家の長屋門が移築されている群馬県千代田町の「光恩寺」を訪問されました。熊谷市と利根川を挟んだ対岸の千代田町は今日も両地域住民の親戚関係も多く、昔から繋がりの強い地域です。

群馬県太田市の「常磐学園」にて吟子直筆の手紙などを所蔵されている様々な資料をもとにお話をうかがいました。
そして、埼玉県熊谷市、深谷市、東京都国立市、北海道瀬棚、そして、群馬県千代田町を撮影されました。映画制作にあたってはこの資料の読解が進められ、新しい吟子の人間像が反映されています。

1875(明治8)年、荻江の薦めにより
女子高等師範学校に入学。吟子24歳

一粒の麦・妻沼聖天山

1879(明治12)年、男装して医学校に通う
吟子。そして晩年の吟子、女医会で講演する。

一粒の麦・滝乃川学園

鹿鳴館スタイルの吟子。
ドレス姿の肖像写真が有名です。

一粒の麦・光恩寺

1884(明治17)年、
日本初の女性医師になる。
同年、母危篤の通知を受け俵瀬に駆けつける。

一粒の麦・ふるさとの俵瀬

1891(明治24)年の濃尾地震で
被災した孤児たちを志方が引き取る。

一粒の麦・ふるさとの俵瀬

三本杉岩近くの海岸で、夫の志方之善を
亡くした吟子を、中村市五郎が励ますシーン。

一粒の麦・北海道せたな町

※ご紹介の撮影写真とロケ地が異なる箇所があります。

荻野吟子記念館　埼玉県熊谷市俵瀬581-1　Copyright (C) 2019 oginoginkokinenkan All Rights Reserved.